



桶川市議会議員 山中敏正

- ・民生経済常任委員会 委員長
- ・議会運営委員会
- ・桶川北本水道企業団議会 監査委員

〒363-0027 桶川市川田谷 2290-1
TEL : 048-787-3796 FAX : 048-782-6885
<https://www.yamanaka-toshimasa.com/>



後援会だより Vol.26 令和7年1月号

発行：山中敏正後援会 発行責任者：山中敏正

3月議会は2/●開会(予定)

市議会では、本会議の様子をインターネット配信しています。



皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。さて、令和6年を振り返りますと、1月1日に石川県能登地方を震源としたマグニチュード7.6の地震がありました。新年早々に発生したことへの驚きと、大きな災害がいつどこで起きてもおかしくないことを思い知らされました。また、大幅なドル高・円安が輸入品の価格を押し上げ、食材や資材、燃料など多くの原材料コストが上昇し物価高騰の大きな要因となりました。

こうした大きく変化する社会経済状況にあっても柔軟に対応し、将来を見据えた安心できる持続可能なまちづくりにこれからも取り組んでまいります。今回の後援会だよりは、令和6年に取り上げた一般質問の内容と日頃の活動実績についてご報告いたします。

結びに、皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心からお祈りいたします。

一般質問より桶川市へ提案及び提言の成果

居心地が良く歩きたくなる駅東口のまちづくりについて

● まちなかウォークアブル推進事業とは

車中心から人中心の空間へと転換を図る、まちなかの歩いて移動できる範囲において、滞在の快適性の向上を目的として市町村や民間事業者等が実施する、道路・公園・広場等の整備や修復・利活用、滞在環境の向上に資する取組を重点的・一体的に支援し、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進する事業です。

● 事業主体等

市町村、市町村都市再生協議会（社会資本整備総合交付金） 国保率：1/2

● まちなかウォークアブル推進事業の支援メニューの例

歩きたくなる空間の創出

- 道路・公園・広場の整備、改修・改変



■ 外観修景



歩行者目線の1階をまちに開放

- 既存建造物リノベーション



空き店舗を改修し、開かれた1階部分に地域拠点を形成

出典：国土交通省ウェブサイト (<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001748617.pdf>)

「居心地が良く歩きたくなる駅東口」の創出と、まちなか再生の前提となる都市構造の改変を軸に、内外の多様な人材・関係人口が出会い交流する新たなまち、駅東口周辺地区のまちづくりの方向性について伺いました。

Q1 立地適正化計画とまちなかウォークアブル推進事業の関係性について伺う。

A1 「ウォークアブル推進事業」を立地適正化計画に取組方針として位置づけることで、「都市構造再編集集中事業」に係る補助金を受けることが可能となるものです。

Q2 本市で考えられる支援を伺う。

A2 緑地施設、カラー舗装、照明施設や、街路空間等の有効活用、官民が連携した既存ストック（空き家など）の改修などの取組が想定されます。

Q3 まちなかの賑わいの創出に向けて、ウォークアブル推進事業を進めて行くべきと考えるが、市の見解を伺う。

A3 駅東口全体の賑わい創出に向けて、取り組んでまいります。

フッ化物洗口について

う蝕予防の有効性、安全性及び高い費用便益率等の医療経済的な観点から、世界保健機関（WHO）をはじめ、様々な関係機関により、フッ化物応用が推奨されています。フッ化物応用の1つであるフッ化物洗口は、とくに4歳から14歳までの期間に実施することがう蝕予防対策として最も大きな効果をもたらすことが示されています。

本市のこども医療費支給事業における歯科医療受診の推移を見ると、毎年増加傾向となっています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件数(件)	17,673	16,401	18,500	19,141	20,803
医療費(円)	41,387,080	41,426,151	45,535,249	45,620,552	47,555,925

予防歯科を行うことで、歯科だけでなく全身の病気を予防することにもつながり、将来的な医療費の負担も大幅に軽くなります。そこで、本市におけるフッ化物洗口への取組について伺いました。

Q1 本市におけるフッ化物洗口への取組について伺う。

A1 令和5年度の3学期より、桶川東中学校で実施しています。

Q2 むし歯予防効果について伺う。(図1参照)

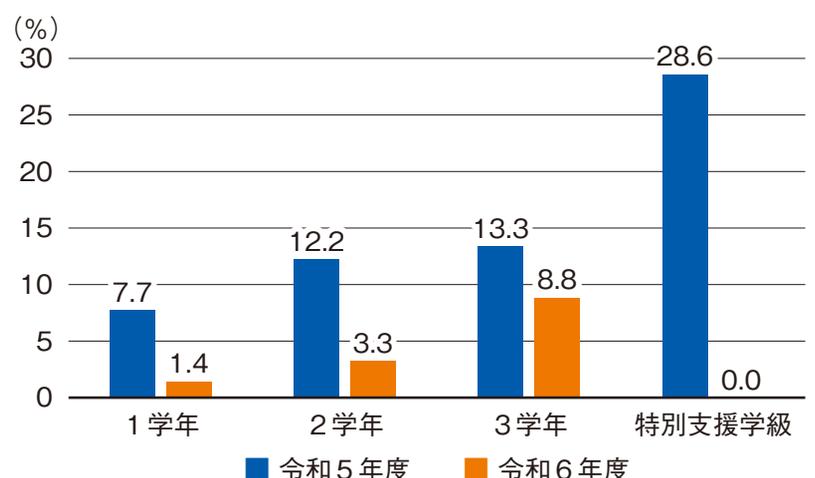
A2 むし歯保有者の割合が、全学年で大きく減少しています。このことは、日頃の歯磨きや、セルフケアやプロフェッショナルケア、またはフッ化物洗口の効果であると考えます。

Q3 今後の取組について伺う。

A3 教育委員会としては、一校の実績について、市内小中学校と情報共有を図り、学校数の拡大を目指します。

→ 桶川東中学校におけるフッ化物洗口の実施者は、令和5年度と令和6年度ともに7割強の生徒が実施しております。

【図1】 桶川東中学校におけるむし歯保有者の割合



人・農地プランから地域計画への取組について

農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、令和5年4月1日より、地域農業の在り方を示した「人・農地プラン」が「地域計画」として法定化され、「目標地図」を新たに作成することが義務付けられました。

「目標地図」とは10年後の1筆ごとの農地を、どの担い手に集積・集約するかを表した、農地利用の将来図となるものです。

● 桶川市における農地及び農業者の現状

1. 耕作地・遊休農地・農地中間管理機構借受地

年度	R3	R4	R5
耕作地面積	214	206	198
遊休農地面積	174	162	163
農地中間管理機構借受地面積	2	2	2

※ 令和3年度・4年度・5年度 農業経営及び農地利用状況に関する調査より

2. 認定農業者数

年度	R3	R4	R5
人数	45	40	36

3. 農業法人数

年度	H22	H27	R2
人数	3	3	2

※ 農林業センサス2010, 2015年, 2020年より

4. 年代別就農者数

(単位: 人)

年齢	H22	H27	R2
20～29	1	4	1
30～39	10	13	11
40～49	15	15	15
50～59	44	34	24
60～69	145	115	63
70～79	148	137	121
80歳以上	62	82	83
計	425	400	318

※ 農林業センサス2010, 2015年, 2020年より

➔ 桶川市の農業者数は減少傾向にあります。年代別では60歳代が大きく減少し、80歳以上が増加しています。平成22年と令和2年ともに60歳以上の方が、全体の約83%を占めている状況となっています。

これまで地域の皆さんの努力で守り続けてきた農地を、次の世代に着実に引き継いでいくため、「将来、地域の農地を誰が利用し、農地をどうまとめていくか」、「農地を含め、地域農業をどのように維持・発展していくか」、当市における地域計画の策定に向けた取組について伺いました。

Q1 桶川市の人・農地プランはどこまで「実質化」されたのか伺う。

A1 実質化には至っていませんが、地域の中心となる担い手への農地の集積が、一部ではありますが、進められたところ です。

Q2 『地域計画』は、基盤法第19条により、令和7年3月末までに策定し、公告することが求められています。本市における今後のスケジュールについて伺う。

A2 令和6年12月頃までには「目標地図」を策定し、計画策定を進めて参ります。

安心できるまちづくり活動報告

皆様からいただいた要望や、日頃の活動に対する一年間の主な実績をご報告いたします。

PICKUP 1 桶川市川田谷三田原西地区堤防整備事業

● 堤防整備範囲と今後のスケジュール

荒川上流河川事務所様より、桶川市川田谷三田原西地区の荒川堤防整備事業に向けた地元説明会が、令和6年3月に行われました。今後のスケジュールとして、用地測量と物件調査を実施し、令和6年12月頃に土地境界の立会いを行います。

その後、地権者様と用地交渉及び土地の引き渡しを経て埋蔵文化財調査を実施し、堤防工事に着手する予定となっています。

● 整備内容について

- 整備する堤防は既存堤防の川側に盛土する形状とし、墓地や家屋を避け、上流側は高台に擦り付けます。
- 運動場や耕作地への搬入路については、現状に近い位置に代替の坂路を設置します。
- 堤防に降った雨は、川裏法尻に水路を設置し、柏原樋管へ排水します。



PICKUP 2 市道2155号線舗装本復旧

道路の途中を横断している水路の前後は、地盤が悪く沈下し段差となっていました。また、台風等の大雨が降ると、道路が冠水をして、通行止めとなることから、嵩上げをして舗装の本復旧を行ったものです。



PICKUP 3 社会を明るくする運動

7月は、「社会を明るくする運動」強調月間です。青少年の健全育成を通し、犯罪のない明るい桶川を目指して活動してまいります。



PICKUP 4 市政報告会を開催

令和6年5月19日(日)、三田原集会所にて地元の方を対象とした市政報告会を開催しました。



PICKUP 5 能登半島大雨災害義援金募金活動

被災された皆様への支援をするために、9月25日と10月2日に、市長をはじめ職員と一緒に街頭募金活動を行いました。



これからも桶川市の“明るい住みよいまちづくり”に取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。